

四中だより

No. 5

令和3年(2021年)9月24日

枚方市立第四中学校

校長 鶴島 茂樹

今、この毎日こそが本番！！

行事はそこに至るプロセスこそ大切

現在、四中オリンピックに向けた撮影や練習が、行われています。みんな本当に一生懸命です。

コロナ禍のなか、今年度の四中オリンピックをどうしたらいいのか、先生たちも悩みました。思えば昨年度のSFは、学年別で行いました。今年もその形で・・・という案もあったのですが、そうなると来年度は、それまでの本来の四中オリンピックをどの学年も経験していないことになってしまいます。

今の3年生にしても、1年生の時に経験したことを、今度は自分たちがリーダーとしてやっていきたいという思いが強くあるはずです。そのことを直接訴えてくれた人もいました。残念ながら、保護者の方の参観はご遠慮願うことになりましたが、それについても「主人公は子どもたち。保護者なしでも、子どもたちの気持ちを最優先してほしい。」という保護者の方からのありがたいお声もいただきました。

さあ！いよいよです。MFビデオは完成したでしょうか？そして、SFまであと約1週間です。ここで一つ、最も大事なことを伝えておきたいと思います。それは、「本番」が1週間後、ではなく、今、この練習の毎日こそが、「本番」だということです。

SFは勝ち負けがあり、当然、勝利を目指してがんばってほしいのですが、結果が一番大事なのではありません。そこへ向けて取り組むなかで、「得られるもの」こそ大切なのです。クラスや団の人たちと共に、練習をする毎日。お互いに声を掛け合ったり、いつもとはちがう仲間の頑張りを発見したり、サボる人を注意したりされたり・・・それらすべてが、その一つひとつが、心の中に刻まれていくはずです。

今、この毎日こそが「本番」！なかには、「本番さえがんばればいいや」などと手抜きをする人もいるかもしれませんが、そんな人は、みんなで取り組む「行事」の本当の意義に気付いてほしいと思います。

本番だけが大事ならば、取り組みや練習の時間は不必要です。そんな行事で本当に達成感が得られるはずがありません。

行事の本当の値打ちは当日の結果ではなく、そこに至るプロセスにこそあります。何度でもいいます。今、この毎日こそ本番！！特に3年生にとっては二度と戻ってこない大切な毎日です。

コロナ禍のなか、やれることをみんなの力を合わせてやりきりましょう！！

3年生、そのリーダーシップに期待しています。

この毎日を大切にしよう！！



